

ぐるっと庄内

第100号記念号
令和6年11月
編集発行 庄内教育事務所 指導課
〒997-1301
東田川郡三川町大字横山字柚東7番1号
TEL0235-68-1982/FAX0235-66-3015

令和6年度 庄内地区学力向上研究協議会

確かな学力の育成に向けた授業づくり

10月15日(火)に庄内地区学力向上研究協議会が余目第四まちづくりセンターで行われました。今回は国立教育政策研究所 教育課程研究センター研究開発部 学力調査官 直海知子氏から「算数・数学における確かな学力の育成に向けた授業づくり」というテーマで御講話をいただきました。

直海先生からは、全国学力・学習状況調査の算数・数学の問題から、今求められている力とその育成に向けた授業改善の手立てについて、具体的な授業場面や参加者の事前質問に沿った形でお話をいただき、今後の授業づくりに向けて充実した研究会となりました。

教科として付けたい力を明確にし、概念形成につながる授業づくりに取り組んでいくことで学力向上に大きく寄与することを御指導いただき、参加した先生方から様々な学びの感想が寄せられました。

参加者アンケートより

- ・直球は受けられるが、変化球に弱いという言葉が、まさにその通りだと感じました。本物のできた、わかったにつながる概念形成、授業改善をしていかなければならないと感じました。つけたい力とは何かを明確にしておくことの大切さを今一度確認したいです。
- ・生徒からたくさん考えを引き出すだけでなく、どう繋げていくかという視点をもらい、授業のプランニングがより具体的にできそうと思いました。
- ・学力調査の問題には、現在求められている資質・能力育成のためのメッセージが込められていることから、その問題分析や教材研究を適切に行うことが授業改善へのよいアプローチとなることを再確認しました。



☆授業を考えるポイント

- ①育てたい資質・能力
- ②主体的な姿を引き出すには?
- ③児童の実態⇒全員が参加できる場面
- ④予想される児童の姿

学力調査の問題作成も同じ

日々の授業で児童が意思決定、判断、選択、メタ認知できる場面を...

②概念形成が苦手 概念形成につながる授業づくり

③授業改善の手立てを考える ・主体的・対話的で深い学びの視点から

算数・数学の学習過程のイメージ

算数・数学の問題発見・解決の過程

【現実の世界】 A1 日常生活や社会の事象 → 数学化 → 数学的に表現した問題 → 数学の世界

【数学の世界】 A2 数学の事象 → 数学化 → 数学的に表現した問題 → 日常生活や社会の事象

活用・蓄積づけ D1 → 結果 → 統合・発展/体系化 D2

日常生活や社会の事象を数理的に捉え、数学的に処理し、問題を解決することができる。

数学の事象について統合的・発展的に考え、問題を解決することができる。

事象を数理的に捉え、数学の問題を見いだし、問題を自立的、協働的に解決することができる。



全国学力・学習状況調査の分析から授業改善へ

10月22日(火)に第3回学校研究ワンアップ研修会が庄内総合支庁講堂で行われました。「庄内地区における全国学調の結果から見えること」というテーマで講義・演習を行い、グループ演習では、下記の4つの演習問題をもとに、授業改善に向けた次の一手を話し合いました。

- 参加された先生方からは、
- ・子どもたちが「わかったつもり」になってしまうような授業をしていなかったかと反省した。単元の中で身に付けさせたい「数学的な見方・考え方」を教師自身がしっかりと授業に臨むことが必要だと改めて感じた。
- ・学んだことをアウトプットする場のつくり方や対話の場面のよい例など、校内でも情報交換をしていきたい。
- ・学習が好き、授業がよくわかるという生徒たちの前向きな姿勢を大切に、必要感のある課題設定(=望ましい場面設定)を行うことを大切にしたい。などの声が挙げられました。ぜひ、学校でもミニ研修として、演習問題を活用し、授業づくりの視点について一緒に考えてみてはいかがでしょうか。

【演習①】数量関係を捉える

小算2(2)、4(1)より

グループ協議① R6 1(1)少ないひき算?【数量関係を捉える】

【1】加法や減法の問題場面の数量の関係を捉え、式に表すことができるかどうかをみる。

(1) ゆうまさんは、折り紙を72枚持っています。 [第2学年]

ゆうまさんが持っている折り紙は、こはるさんが持っている折り紙より28枚少ないです。

こはるさんが持っている折り紙の枚数を求める式を、下のアからエまでの中から1つ選んで、その記号を書きましょう。

解答類型	種類	正答率 (%)
ア	72 + 28	62.3
イ	72 - 28	32.4
ウ	72 × 28	1.0
エ	72 ÷ 28	3.9
オ	無解答	0.2

10/15 学力向上研究協議会 講師資料より 32

【演習②】小数のわり算

小算2(2)、4(1)より

グループ協議② R6 4(1)小数のわり算

【1】 あいさんは、家から学校までの歩数を歩きます。家から学校までの道のりは、540mです。あいさんの歩は0.6mとします。

家から学校までの歩数は、540 ÷ 0.6の式で求めることができます。540 ÷ 0.6を計算しましょう。

これらの問題を解くためには、どんな力が必要なの?

グループ協議③ 「児童・生徒質問紙調査」「正答率」から

国語の授業の内容はよく分かる

算数【数学】の授業の内容はよく分かる

国語の授業内容の把握状況 (H24年度・H25年度)

算数の授業内容の把握状況 (H24年度・H25年度)

国語の授業内容の把握状況 (H24年度・H25年度)

算数の授業内容の把握状況 (H24年度・H25年度)

【演習③】わかる・できるへ

質問調査・正答率・正答分布より

グループ協議④ 「各質問紙調査」から【家庭学習との関連】

1日家庭学習時間(1時間以上)

家庭学習の時間について、その後の指導改善や学習改善に生かした

↑前回から上昇 ↓前回から下降

授業と家庭学習との関連は?

計画指導訪問校に学ぶ Vol.2

【酒田市立鳥海小学校】(校長 高橋 奈緒美 10月2日訪問)

学校教育目標=思いやりのある子(徳) すすんで学ぶ子(知) 元気に遊ぶ子(体)

- (1) 学校教育全体であたたかいかかわりを大切にしながら、「伝え合い・語り合い」を目標として、子どもたちの主体性を生かした活動や、粘り強く挑戦したり、高め合ったりする活動を進めている。
- (2) 子どもたちがかかわりの中で学びを深めることができるよう日々の授業を実践し、教科と特別活動の往還的な関係を通して、確かな学力の育成に繋がっている。
- (3) 子どもたちにも、めざす教師像にある「時を守り、場を清め、礼を正す」が浸透しており、気持ちのよい挨拶が飛び交っている。学校・保護者・地域のあたたかな関わりのもと、PTAの強い支えと先生方の寄り添う姿が子どもたちの笑顔と郷土を愛する心の育成に繋がっている。

【鶴岡市立羽黒中学校】(校長 渡邊 智 10月23日訪問)

学校教育目標=自律をめざし たくましく心豊かに生きる生徒の育成

- (1) 学校教育目標の中で、これまでの「自立」を、今年度から「自律」に変更した。今何をしないといけないのか、あなたはどうしたいのかを、生徒自身に考えさせながら教育活動を進めている。
- (2) ねらいを明確にした授業づくりを進めている。授業の中で重要なポイントは生徒が発言できるよう工夫している。AIドリルを理科の授業開始時、家庭学習では英語科の学習で活用している。自分自身の学習方法を「自ら」選ぶことのできる生徒を育成している。
- (3) 全教育活動を通じて「あたたかさ・一生懸命さ」を育てている。日常的な教育相談や発達支持的生徒指導、特別活動の3領域を通して社会性を育成している。

☆平成22年9月に指導課通信第1号を発行してから14年ほど過ぎ、今回で100号を発行することができました。関係機関の皆さまにはこれまで御意見等を頂きながら御支援を頂き厚く御礼申し上げます。これからも庄内の子どもたちの健やかな育成、庄内の教育の充実を目指して発行していきたいと思っております。今後とも「ぐるっと庄内」をよろしくお願ひいたします。(庄内教育事務所指導課長)